株主・投資家の皆様へ

LINTEC

Linking your dreams

DECEMBER 2021

- 株主・投資家の皆様へ 代表取締役社長 社長執行役員 服部 真
- → スペシャルレポート長期ビジョンの実現に向けた リンテックの研究開発
- LINTEC ESSAY 笑顔のために _{渡辺 えり}

第128期 (2022年3月期) 第2四半期 決算情報

証券コード: 7966

DECEMBER 2021 85



イルリサット

世界最大の島であるグリーンランド の南西部に位置する北極圏の街。 無数の氷山が海を埋め尽くす絶景 で知られ、秋から春の晴れた夜には 美しいオーロラを見ることができる。

目次

- 2 連結業績推移
- 3 株主・投資家の皆様へ 代表取締役社長 社長執行役員 服部 真
- 4 スペシャルレポート 長期ビジョンの実現に向けた リンテックの研究開発
- 8 トピックス
- 9 新聞広告シリーズ
- 10 LINTEC ESSAY 笑顔のために 渡辺 えり
- 12 アンケート結果のご報告
- 14 決算情報
- 16 セグメント情報
- 19 株式情報

(免責事項)

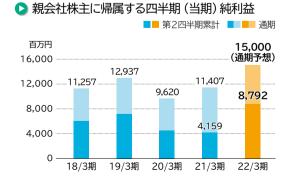
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手 している情報および合理的であると判断する一定の前提 に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因に より大きく異なる可能性があります。

連結業績推移









▶2022年3月期第2四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

125,640百万円 (12.7%增)

営業利益

11,729百万円 (85.4%增)

経常利益

12,255百万円 (97.5%增)

親会社株主に帰属する四半期純利益

8,792 百万円 (111.4%增)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申 し上げます。

当社グループの2022年3月期第2四半 期連結累計期間の業績は、半導体・電子部品 関連製品が旺盛な需要に支えられ順調に 推移したことに加え、そのほかの製品につい ても総じて需要が回復したことにより、増収 増益となりました。

今後、原燃料価格の上昇などによる調達 コストの増加などが懸念されますが、上期 の業績が当初の想定を大きく上回り、下期 においても売り上げは引き続き堅調に推移



代表取締役社長 **服部** 真社 長執行役員 **服部** 真

すると見込まれることから、通期の連結業 績予想を上方修正いたしました。11期ぶり の最高業績更新や、今期からスタートした 3か年中期経営計画の最終年度の経営目標 を射程に捉えており、全社一丸となって修正 予想の達成を目指してまいります。

なお、当社は11月8日に株主還元の充実と 資本効率の向上を目的とし、来年8月末まで に400万株、または120億円を上限とする 自己株式の取得について発表いたしました。

株主・投資家の皆様には、引き続きご支援 のほどよろしくお願い申し上げます。

2022年3月期連結業績予想				2021年3月期	
			当初予想	修正予想(増減率)	実績
売	上	高	2,400億円	2,550億円 (6.3%増)	2,359億 2百万円
営	業	山 益	175億円	210億円 (20.0%増)	170億30百万円
経	常和	山 益	175億円	215億円 (22.9%増)	167億70百万円
親会当	社株主に帰 期 純	帰属する 利 益	125億円	150億円 (20.0%増)	114億 7百万円

長期ビジョンの実現に向けた リンテックの研究開発

当社グループでは2030年を見据えた長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030(略称:LSV 2030)」を掲げ、その実現に向けた最初の3か年中期経営計画「LSV 2030-Stage 1」を今期から推進しています。ここではリンテックが持続的成長を遂げていくための鍵となる研究開発についてご紹介します。

リンテックグループの研究開発力

(2021年3月期)

研究開発費 76億円

売上高 研究開発費比率 **3.2**%

国内外 特許保有件数 **4,890**件 国内外 研究員数 約220人

研究員の海外派遣 米国、ドイツ、 台湾、タイなど





長期ビジョン「LSV 2030」

基本方針:イノベーションによる企業体質の強靭化と持続的成長に向けた

新製品・新事業の創出を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献する

重点テーマ: 1. 社会的課題の解決

2. イノベーションによる企業体質の強靭化

3. 持続的成長に向けた新製品・新事業の創出

財務指標: 売上高営業利益率12%以上 ROE(自己資本当期純利益率)10%以上

(2030年3月期)

「LSV 2030-Stage 1」での研究開発方針

当社の新製品・新技術開発を統括する研究開発本部では、研究所 (埼玉県) に約200人の研究員を擁し、先端の各種試験・分析機器や工場の量産設備に近い大型テスト塗工設備などを駆使して、独自の技術力を生かした機能性材料の開発に注力しています。「LSV 2030-Stage 1」においては"オンリーワン・ナンバーワンを志向する製品開発"を方針の一つに掲げ、環境問題解決に資する製品、社会と共に持続的に成長していくための製品および新事業の創出を目指しています。

■研究開発の主要テーマ

① 持続可能な社会への貢献 COz排出量の削減、

プラスチック使用量の削減など

②新事業の創出

コントロール (熱制御) など

③ 既存事業の拡大

半導体、ディスプレイ、 モビリティ(車両関連)、 食品関連 など ④ 基盤技術の深耕

粘着応用、表面改質、 特殊紙・剥離材製造、 システム化技術 など



脱炭素への取り組み

研究開発の主要テーマの中でも特に重要なのが、持続可能な社会への貢献です。CO2などの温室効果ガスの排出を抑える脱炭素への取り組みが世界的に広がっており、日本政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指



すことを宣言しました。当社グループも2030年までに2013年度比でCO₂排出量を50%以上削減し、2050年にはこれを実質ゼロにすることを目標に掲げています。

研究開発本部では、今期から"カーボンニュートラル・チャレンジ (CNC)"というスローガンの下、CO2排出量の削減に向けた開発活動を強化しています。同時に脱プラスチックを目指し、フィルム使用量の削減やプラスチック代替素材を用いた製品開発にも積極的に取り組んでいます。

CO2排出量の削減に向けて

この10月、当本部内にCNCを含む革新的な研究開発を リードするチームを新たに立ち上げ、私がリーダーを務め ることになりました。当社では粘着剤や剝離剤の塗工に 石油由来の有機溶剤を使用することが多いのですが、塗 工後の乾燥工程で発生するガスを燃焼処理する際に多く のCO2が排出されることから、製品の無溶剤化が最重要



バイオマス素材を利用し、無溶剤処方で 製造したシール・ラベル用粘着製品

課題となります。また、当社製品の 表面基材に使われるプラスチック



研究開発本部 研究所製品研究部 副部長 小野 義友

フィルムや粘着剤も石油由来の材料ですから、これらを植物由来のバイオマス素材や生分解性素材に転換していくことも重要です。こうした観点から、従来の素材や処方を変えながら製品性能を高める研究開発を強化しているほか、CO2を材料にした粘着剤ができないかといったことも検討しています。脱炭素を前提に製品の高付加価値化を図ることが不可欠であり、将来的には当社製品全体を環境配慮製品と呼べるようにしていきたいと考えています。

本部長インタビュー

将来を見据え、研究開発力をさらに強化していきます

研究開発本部では、持続可能な社会への 貢献を使命と捉え、オンリーワン・ナンバー ワンを目指した製品開発に努めています。 近年好調に推移している半導体関連分野 では、スマートフォンなどをはじめとする最 終製品に搭載される高付加価値テープなど の開発を進めているほか、「EUV (極端紫 外線)ペリクル」と呼ばれる次世代回路形成 プロセス部材の開発にも取り組み、既に実 用評価段階を迎えつつあります。また、主力 のシール・ラベル用粘着製品や特殊紙、剝



離紙の分野では、今日の脱炭素・脱プラスチックの動きを新たなビジネスチャンスと して捉え、「紙化」をキーワードとした製品開発も積極的に進めています。

さらに、将来に向けた研究開発には、AI (人工知能) などのデジタル技術の活用が

重要になってきます。既に一部の製品設計や特許調査ではその利用が進んでいますが、今後、応用範囲を広げることで開発のスピードアップや画期的な新製品開発につなげていきます。また、グローバルな材料調達や製品開発を見据え、海外拠点への研究員派遣を継続的に行っていくほか、自社の基盤技術を守るための特許出願や市場拡大のための協調戦術など、知的財産戦略の強化にも注力しています。2030年、そして2050年には現在の若い研究員たちが責任を負う立場になります。その時のためにも、彼らが自由に意見を述べ、斬新なアイデアが生まれるような環境づくりをしていくことが大切だと考えています。



東証の新市場区分「プライム市場」への移行を申請

当社が上場している東京証券取引所(東証)は2022年4月に、市場第1部・市場第2部・マザーズ・ダネスダック JASDAQの4市場からプライム・スタンダード・グロースの3市場に再編されます。これまで東証1部に上場していた当社は上場維持基準への適合判定を受け、新区分において最上位となるプライム市場への上場を選択することとし、この9月に申請を行いました。同市場は、株式流動性やガバナンス(企業統治)についてより高い水準を備え、持続的成長と中・長期的な企業価値の向上を目指す企業向けの市場とされており、今後さらに多くの国内外投資家の投資対象となることが期待されます。

現在の市場区分

市場第1部

市場第2部

マザーズ



新しい市場区分と主な基準

プライム市場

- ·流通株式時価総額
- 100億円以上
- ・流通株式比率
- 35%以上
- ・より高いガバナンス水準を具備すること

スタンダード市場

- ·流通株式時価総額
- 10億円以上 25%以上
- ·流通株式比率
- ・基本的なガバナンス水準を具備すること

グロース市場

- ·流通株式時価総額
- 5億円以上
- ·流通株式比率
- 25%以上

「リンテックのエコひいき」シリーズが朝日新聞の広告賞に入賞

2020年度に新聞各紙で展開した 企業広告シリーズが、朝日新聞社主催 の「第69回朝日広告賞」において小型 広告賞を受賞しました。朝日広告賞へ の入賞はこれで3年連続となります。 同広告シリーズは「リンテックのエコ ひいき」というテーマの下、当社の環境 配慮製品などを印象的なキャッチコピー と影絵風のビジュアルを使って訴求した もので、第一線で活躍するアートディレ クターやコピーライターの方々による 審査で高い評価を頂きました。今後も 工夫を凝らした広告展開を通して、さら なる認知度向上に取り組んでいきます。





皆様の暮らしを豊かにする当社の製品や技術などをイメージした"リンテック流"のオリジナル名言・格言と、目を引く偉人風のシルエットを組み合わせて表現した新聞広告シリーズです。

【掲載紙】 日本経済新聞、讀賣新聞、朝日新聞、 毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国 新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、 日刊工業新聞、化学工業日報



近年、脱プラスチックの需要が高まっており、 プラスチック製の使い捨て食品容器を紙に 切り替える動きが広がりつつあります。当社 では、これまで培ってきた特殊紙製造技術を 生かし、コンビニのお弁当容器などに適した 厚物の耐油耐水紙の拡販に注力しています。



】 月 November 掲載広告

当社は自動車のボディーに貼ることで、塗装面を汚れや傷から保護するフィルムを製造・販売しています。フィルム表面に独自のコーティング加工を施すことにより、優れた防汚性と撥水性を発揮。さらに、厚手のポリウレタンフィルムが飛び石などによる傷からも塗装面を守ります。



12月 December 掲載広告

商業施設や駅構内、歩道などで見かける床や路面の鮮やかな案内標示。これは薄い粘着シートが貼られたもので、耐久性や印刷適性はもちろん、凹凸面への追従性なども求められます。当社の案内標示用シートはこれらの要求性能をクリアし、必要な情報を足元からお知らせします。

詳しくは こちらのサイトで 御覧いただけます DREAM FACTORY

www.lintec.co.jp/dream/ad



人との会話を楽しむのが好きだ。話している相手の笑顔を見ると、本当に幸せな気持ちになる。逆に苦しそうな顔や無表情な顔を見ると、胸がえぐられるような感覚に襲われる。コロナ禍でマスクを掛けた人たちとのオンライン会議が増え、冗談を言って笑わせたりできない議題も多くなり、その場から逃げ出したい気持ちを抑えながらの会議が続いている。

小学校に入学する前の5歳くらいの時、 近所の子供たちを集めて民話の一人語り をしていた。真理ちゃんという目が大きく て足の長い、同じ年くらいの女の子の家 に集まって話していた。当時は畳敷きの 家が多い中、真理ちゃんの家には洋室が あり、海の底のような青い絨毯が敷かれ ていた。子供たちは体育座りで、私は落 語家のように正座して、「最上のへっぴり 長者」を代表とするいくつかのお気に入り の山形の民話を話して聞かせるのだった。 どうしてこの会が始まったのかは忘れて しまったが、評判が良く、噂が噂を呼び、 毎週何回か開かれた。小学校に入学して からはみんな忙しくなって、自然に解散と なった。

父は小学校の教員で、友人の作家、江口 文四郎氏が集めた民話をガリ版で摺って イラストを描き、限定本を作っていた。父 に読み聞かせてもらったその物語を覚え て、自分の創作も交えながら人に話すのが 好きだった。

「昔話あったけずまなれ」と、語り部が 子供たちに話しかける。すると子供たちが 「おっとー」と答える。物語を語る前に、 必ず両者が互いに掛け声をかける。これ が決まりになっていた。努力家で気持ち の優しい農民が山形名産の「ヒョウ」とい う茹でた野菜を食べると、「アヤヤチュー チューニシキサラサラゴョノマタノアイダ からツヅラピンパンプー」という妙なオナラ の音を表現するこの擬音に、聞く者は必ず 大笑いする。そしてお金を取ろうと画策



渡辺 えり

劇作家・演出家・俳優・歌手。山形県出身。「オフィス(る)○○○○○○○○○ 主宰。 『ゲゲゲのげ 逢魔が時に揺れるブランコ』で岸田國士戯曲賞、『瞼の女 まだ見ぬ海からの手紙』で紀伊國屋演劇賞を受賞。演劇界のボーダー レスを切り拓いた一人。また、演劇のみならず歌手としてもコンサートを 開催するなど、積極的に音楽活動も行っている。

した悪い農民が真似して食べると、オナラではなくて「ミが出た」というシーンでは、 さらに大笑いになる。私は、そのシーンを 語った時の子供たちの笑う表情と笑う声 が好きで、ついつい乗せられて語り続ける ようになったのだった。

小学校に入ると、お誕生会の余興のお 芝居にはまってしまった。お客様は、お誕 生日の級友と仲良しの子供たちの家族。 五、六人を喜ばせるために、私は級友た ちに泣きながら演出していたらしい。私 の脚本に出演した友達が「えりちゃんは 小学校の時から全然変わってないね」と 口を揃える。そのお誕生会の写真が今も 残っていて、毎年同じメンバーで劇団の ように上演していたことが分かる。

2歳か3歳の頃、喋るより先に炬燵の上で「荒城の月」を歌ったら家族が目を見開き、笑顔で「えりちゃんは歌がうまい」と大拍手を送ってくれたのが嬉しく、そん

なに喜んでくれるのならと歌も歌うようになった。中学校に入ると、オリジナルの脚本を書いて文化祭で上演するようになる。 これも生徒や先生たちが大喜びしてくれたおかげである。声楽クラブや合唱クラブで顧問の先生に指導を受け、高校の演劇クラブで演劇を作り続けて今日に至っている。

昔から言われている「三つ子の魂百まで」 という言葉は、こういうことなのだろうか? とにかく人が喜ぶ顔を見たいという一心 で演劇を作り、歌を歌ってきた。それが コロナ禍で、人々の精神的な苦しみを少 しでも緩和し、孤独を癒し、生きる勇気に 繋がる一筋の光になりたいと願う心、この 心自体がくじけそうな状況が長く続いて いる。

66歳になった今、自分自身にもっと強さ と優しさが欲しい。そして、励ましの言葉が 欲しいと願ってしまう。

子供の頃から芝居や歌で周りの人たちを楽しませるのが好きだったことから芸能の道に進み、今は少しでもコロナ禍の世界を照らす光になりたいと語る渡辺さん。リンテックもCO₂排出量の削減をはじめとするさまざまな課題の解決に向けて、事業活動を通じて社会に貢献していきたいと考えています。

■■■ アンケート結果のご報告





読者アンケートへのご協力ありがとうございました

「LINTEC WAVE」第83号 (2021年6月発行) で皆様にご協力をお願いしたアンケートでは、過去最多となる1,340件のご回答を頂き、株主数に対する回答率も過去最高の21.6%となりました。アンケートの集計結果やお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を基に、今後も一層の経営強化やIR活動の充実に努めてまいります。

$\underline{\mathsf{M}}$

主な集計結果 上位ランキング

- Q. 当社株式の保有期間は どのくらいですか?
- <u>0</u> 10年以上
- 36%

15%

- ② 5年~10年未満 26%
- 3年∼5年未満

- Q.保有する理由として当てはま るものは?(複数回答)
- ⑩ 株価の値上がり期待 47%
- ② 配当金が魅力的
- ③ カレンダーが好き

- Q.「WAVE」に掲載してほしい 情報は?(複数回答)
- 🕛 研究開発情報
 - 事業内容の詳細説明 39%

53%

- A A TANK L A L When A
 - 経営方針・戦略 36%

📝 読者の方からの声

中期経営計画の達成と 長期ビジョンの実現に期待している 新事業や新製品の 開発状況が知りたい はがきによるアンケートは 継続してほしい

国内外の拠点を紹介してほしい

安定配当と株価上昇を期待している

WAVEの表紙の写真は 痰やかで素敵

41%

28%

ROE10%以上を 目指してほしい

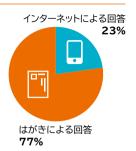
セグメントごとの業績について もう少し詳しく説明してほしい SDGsやESGへの取り組みを 強化し、企業価値を高めてほしい 知的財産・特許戦略などについて知りたい

リンテック製品が どこに使われているのか もっと教えてほしい

WAVEは横文字が少ないので 読みやすい CO2排出量の削減に 積極的に取り組んでほしい

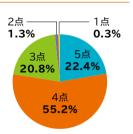
□ インターネットによるアンケート回答について

今回のアンケートでは、初の試みとしてインターネットを利用した アンケートも実施しました。これまで回答したことがなかった方も 含め、若い世代を中心にご利用いただいた結果、インターネット からの回答比率は全体の23%となりました。なお、はがきでの 回答を希望する方も多くいらっしゃいますので、次回以降もインター ネットとはがきを併用していく予定です。



★ WAVEの評価について

WAVEについて5点満点で採点していただいたところ、平均点は 2点 4.0点という結果になりました。現在、今回のアンケートでお寄せいただいたご意見などを基に、誌面の改善や新企画などの検討を行っています。今後も皆様が当社について理解を深めていただけるよう、内容の充実に努めてまいります。



◯ 読みやすく、分かりやすい誌面づくりに向けて

▶新聞の文字が以前より大きくなってきている ように、当誌も文字サイズを拡大したり、より見 やすい書体を採用したりするなど、皆様の声を 反映しながら随時、誌面の改善を図っています。



内容についても引き続き、皆様の関心の高い話題の掲載を心掛け、専門用語や片仮名の使用を極力避けて、写真や図表などを多く掲載するといったことにも配慮していきます。

ご協力ありがとうございました

アンケートにご回答いただいた皆様には、 当社高級印刷用紙「ニュアージュCoC」を使 用した2022年版当社オリジナルカレンダー をお送りさせていただきました。今回は、美しい 自然と調和したヨーロッパ各地の風景を、 透明感のある色彩と軽やかなタッチでみず みずしく描いた藤 祥州氏の水彩画集です。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)	当第2四半期 連結会計期間	前連結 会計年度	
流動資産	179,208	170,098	
固定資産	117,485	110,164	
① 資産合計	296,693	280,262	
流動負債	68,801	63,506	
固定負債	19,732	19,406	
② 負債合計	88,533	82,912	
③ 純資産合計	208,159	197,350	
負債純資産合計	296,693	280,262	

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位:百万円)	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期連結累計期間	
④ 売上高	125,640	111,486	
売上総利益	33,147	26,662	
販売費及び 一般管理費	21,418	20,337	
G 営業利益	11,729	6,324	
経常利益	12,255	6,204	
税金等調整前 四半期純利益	12,523	6,234	
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,792	4,159	
四半期包括利益	13,592	2,526	

■ポイント!

● 資産合計

「受取手形、売掛金及び契約資産」などが減少しましたが、「有形固定資産」「棚卸資産」「流動資産その他」などが増加したことにより、総資産は164億30百万円増加しました。

2 負債合計

「流動負債その他」などが増加したことにより、負債は56億21百万円増加しました。

❷ 純資産合計

「利益剰余金」「為替換算調整勘定」などが増加したことにより、純資産は108億 8百万円増加しました。

4 売上高

収益認識会計基準の適用により、オプティカル材事業部門が大幅に減少しましたが、アドバンストマテリアルズ事業部門が好調に推移したほか、そのほかの事業部門も需要が回復したことなどにより、売上高は141億54百万円増加しました。

G 営業利益

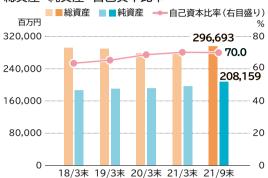
電子・光学関連の増益に加え、印刷材・産業工材関連が黒字化したことなどにより、 営業利益は54億4百万円増加しました。

営業利益の増加に加え、為替差益や米国子会社買収に伴う負ののれん発生益の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億33百万円増加しました。

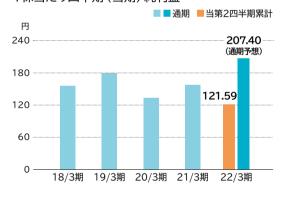
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円) 当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
営業活動による 15,448	13,775
投資活動による △7,553	△2,869
財務活動による △3,996 キャッシュ・フロー	△4,677
現金及び現金同等物の 四半期末残高 63,185	57,845

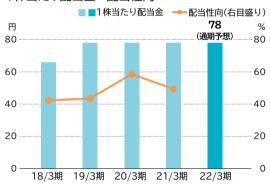
総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり配当金・配当性向







減価償却費 ■通期 ■当第2四半期累計のれん償却額 ■通期 ■当第2四半期累計



研究開発費 ■通期 ■当第2四半期累計



印刷材,產業工材関連

642億39百万円 (16.3%增) 売上高

11億50百万円





当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

印刷·情報材事業部門 売上高 486億49百万円 (15.0%增)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では化粧品や飲料キャン ペーン用などの需要は低調だったものの、食品や家電、自動車、 通販関連の需要が堅調に推移しました。海外では米国や中国、 アセアン地域において好調に推移しました。この結果、当事業部 門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



産業工材事業部門 売上高 **155**億**89**百万円 (20.4%増)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- ラベリングマシン
- 屋外看板・広告用フィルム● 内装用化粧フィルム
- ・工業用粘着テープ
- ウインドーフィルム

国内外ともに自動車用粘着製品やウインドーフィルム、装飾用 フィルムなどの需要が大きく回復したほか、通販向け装置につ いても好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は 前年同期に比べ増加しました。



- ※ 2022年3月期の期首よりマックタック・アメリカ社の産業工材事業部門に関わる全ての製品を印刷・情報材事業 部門へ移管しました。
- ※ セグメント別の営業利益および営業利益構成比は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。
- ※()内は前年同期比

電子・光学関連

売上高 **446**億**80**百万円 (6.7%増)

営業利益 **95**億 **39** 百万円(43.9%増)



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

アドバンストマテリアルズ事業部門 売上高 329億8百万円 (25.3%増)

主要製品

半導体関連粘着テープ

- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

半導体関連粘着テープや関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープは、5G対応のスマートフォンやカーエレクトロニクス、テレワーク拡大に伴うパソコンなどの需要増加により好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



オプティカル材事業部門 売上高 117億71 百万円 (24.7%減)

主要製品

- 偏光フィルム/粘着加工
- タッチパネル関連製品

光学ディスプレイ関連粘着製品は、大型テレビ用やスマートフォン 用などの需要が増加したことにより堅調に推移しました。なお、 収益認識に関する会計基準適用の影響を受け、当事業部門の売 上高は前年同期に比べ大幅に減少しました。

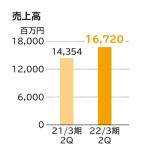


※ 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期第2四半期の実績は組み替えて記載しています。

洋紙・加工材関連

売上高 **167**億**20**百万円 (16.5%増)

営業利益 10億 8 百万円 (68.4%増)





当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

洋紙事業部門 売上高 **75**億**51**百万円 (8.4%増)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙

- 高級印刷用紙
- 建材用紙

主力のカラー封筒用紙は前年同期並みだったものの、クリーンルームなどで使用される工業用特殊紙やファストフード向け耐油耐水紙の需要が回復しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。

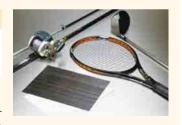


加工材事業部門 売上高 91億69百万円 (24.2%増)

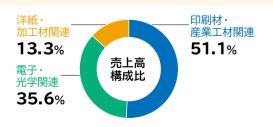
主要製品

- 粘着製品用剝離紙
- 光学関連製品用剝離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

合成皮革用工程紙は車両用の需要が大幅に回復しました。また、電子材料用剝離紙やスポーツ・レジャー用の炭素繊維複合材料用工程紙も順調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



※ 2022年3月期の期首より洋紙・加工材関連の一部製品を電子・光学関連へ移管しました。2021年3月期第2四半期の実績は組み替えて記載しています。





株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式4,334,372株を除く)	72,325,068株
単元株式数	100株
株主数	6,189人

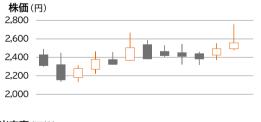
大株主の状況 (上位10人)

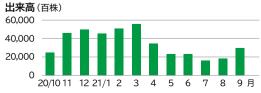
株主名	持株数 (千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	21,737	30.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,519	9.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,636	5.02
全国共済農業協同組合連合会	2,625	3.62
庄司 たみ江	1,796	2.48
株式会社かんぽ生命保険	1,715	2.37
塩飽 恵以子	1,543	2.13
リンテック従業員持株会	1,095	1.51
株式会社日本カストディ銀行(信託ロ7)	842	1.16
塩飽 一營子	803	1.11

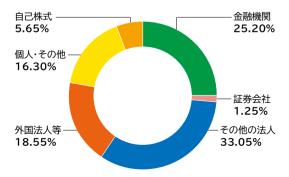
注1. 当社は自己株式4,334,372株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移(2020年10月~2021年9月) 所有者別分布比率







会社概要 (2021年9月30日現在)

社 名 リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)

設 立 1934年10月15日

資 本 金 233億2,095万411円

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

従 業 員 数 連結:4,913人 単体:2,618人(2021年3月31日現在)

事業所営業拠点:東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所

生 産 拠 点:吾妻(群馬県)、熊谷·伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、

龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県)

研 究 拠 点:蕨・さいたま(埼玉県)

海外事務所:ハノイ(ベトナム)

連結子会社 国内:3社 海外:39社

株主メモ

定時株主総会 6月

配 当 基 準 日 期末:3月31日 中間:9月30日

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内1-4-5 特別口座の口座管理機関 三菱 UFJ 信託銀行株式会社

・郵便物送付先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社

証券代行部

・ホームページアドレス www.tr.mufg.jp/daikou

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

法定公告掲載ホームページアドレス

www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html

LINTEC リンテック株式会社 Linking your dreams ◆ 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23

◆ 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23 URL www.lintec.co.jp

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせてデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

IRメール配信サービス のお知らせ



当社では新製品情報なども含め、 株主・投資家の皆様へさまざまな ニュースを幅広くお届けするために IRメール配信サービスをご提供 しています。配信をご希望の方は、 当社IR情報サイトよりご登録を お願いいたします。

www.lintec.co.jp/ir



※スマートフォンなどで上記の二次 元コードを読み取ると、登録ページ へ簡単にアクセスできます。

発行 広報・IR室 2021年12月 TEL. (03) 5248-7741 FAX. (03) 5248-7754



ユニバーサルデザイン(UD)の 考えに基づいた見やすいデザ インの文字を採用しています。